オキナワノコワイハナシ

沖縄には、今でも島の至る所に
後世への通路がある。
島人は、いつもそこから吹いてくる風に
耳を傾けている。

よんたま沖縄映画祭@多摩住民自治研究所 創立50周年

オンライン上映会&トークショー

2021.
8.15㊐ 番外編

オキナワノコワイハナシ

沖縄には、いまだ後世（あの世）への入り口がいたるところにある

短編3本
14:00〜16:30
後生（あの世）と交信する沖縄。
珠玉の3本を高山の解説付きで。

ヲナリ（2014年）
監督：後藤聡

砂浜で目が覚めたボロボロの男。彼は漁師で、船が難破して無人島に流れ着いたのだった。途方に暮れながら食べ物をさがすが、その目の前に軍服姿の亡霊が現れた。

方言札（2016年）
監督：名嘉真崇介

エミが自宅の倉庫で見つけたのは、終戦直後に事故死したという祖母の妹・タカコの遺品で、その中に「方言札」があった。
タカコが亡くなった1960年。終戦から10年以上が経ち本土復帰の機運が高まる沖縄では、日本国民として恥ずかしくない人間を育てようと、方言札が学校教育に導入されていた。方言を使った者は罰として方言札を首から下げないといけないという悪法で、タカコはこの方言札によって不幸な死を遂げたのだった。
「方言札」そのものが忘れ去られようとしている今、再び霊となってこの世に現れたタカコの怨念とは…。

チエコの霊（2014年）
監督：江口カン

親友のチエコを交通事故で失ったアサミ。しかし自宅に帰ると、かつては美しかったチエコが変わり果てた姿で現れる。彼女の言葉に耳を傾けたとき、信じられない真実を知ることとなる…。

第2回 9.19㊐ 沖縄エロス外伝 モトシンカカランヌー
復帰前、元手のいらない商売、娼婦と政治運動家、強烈なドキュメンタリーの肌ざわり。
大和からやってくる復帰反対運動に対する痛烈な批判である。

第3回 11.21㊐ ハブと拳骨
物語（フィクション）が真実を超えて哲学する。
戦果アギヤーの世界

第4回 2022. 3.20㊐ カタブイ -沖縄に生きる-
写真家ダニエルが切り取った沖縄に、もしもあなたが違和感を持ったとしたら… ほら、スコールがやってくる。

参加費：各回 1,500円（税込） ※年間セット価格（全5回）：6,000円（税込）

※第1回『シバサシ〜安里清信の残照』上映会+トークショーは、番外編上映前までの期間、アーカイブ配信（1,500円）します。
年間セットをご希望の方、第1回ご視聴をご希望の方は、Ⓐ か Ⓑ にてお申込ください。

番外編上映会 お申込方法
右のいずれかでお願いします。

Ⓐ 多摩住民自治研究所ホームページ「よんたま沖縄映画祭申込フォーム」より、お申込みください。http://www.tamaken.org/?p=2863

Ⓑ メールにてお名前・ご住所・ご希望のチケット名を
多摩住民自治研究所 tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp にお送りください。
詳細についてご返信の上、お振込用紙をお送りいたします。

Ⓒ Peatix からお申込　下記にアクセスしてお申込ください。→
https://yontamaextraedi.peatix.com/

申込・問合せ先 NPO法人多摩住民自治研究所
〒191-0016東京都日野市神明3-10-5エスプリ日野103　Tel：042-586-7651　Fax：042-514-8096
email：tamajitiken1972@space.ocn.ne.jp　HP:http://www.tamaken.org/

主催 よんたま沖縄映画祭実行委員会
共催 喜多見と狛江の小さな映画祭+α実行委員会 / NPO法人多摩住民自治研究所　協力 株式会社M.A.P.

♥オンラインで映画を観る方法等について、丁寧に説明いたします。多摩研事務局までお問合せください。